

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-23号)

令和元年11月13日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年11月11日に伊勢湾、11月7、8日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

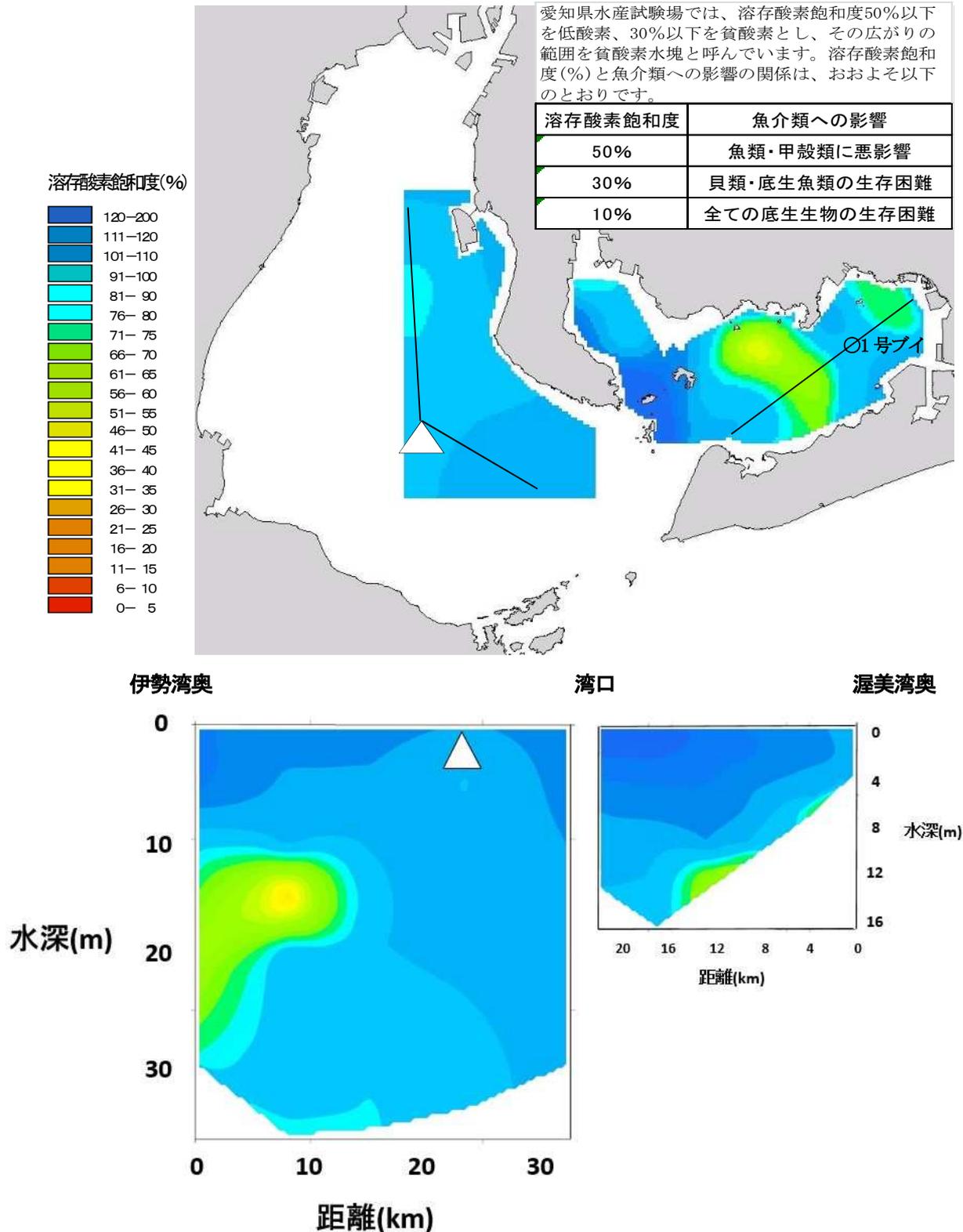


図1 伊勢湾(11月11日)・三河湾(11月7、8日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

## 伊勢湾

11月11日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾東部では貧酸素水塊は確認されませんでした。しかし、鉛直分布図によると、湾央では中層に溶存酸素濃度の低い水塊が分布している様子が観測されました。底層の水温が表層よりも高くなっており、海水の上下混合が起きやすくなっているため、今後、貧酸素水塊の発達はないものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

|    | 水温(°C)    | 塩分        |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 19.2~20.8 | 29.5~30.9 |
| 底層 | 20.5~22.3 | 30.8~33.6 |

## 三河湾

11月7、8日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月15、16日）と同様に、三河湾全体で貧酸素水塊は発生していませんでした。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、底層の溶存酸素飽和度は10月30日から11月4日にかけて50%と低い値で推移していましたが、11月1日から2日にかけてと、4日に強風が吹いた影響により、5日以降は100%と高い値で推移している様子が観測されました。

水温の表底層間較差が解消しており、海水の上下混合が起きやすくなっているため、今後、貧酸素水塊の発達はないものと考えられます。今回で三河湾の貧酸素調査を終了します。

表2 調査時の水温・塩分

|    | 水温(°C)    | 塩分        |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 18.1~22.1 | 27.1~31.9 |
| 底層 | 18.4~22.5 | 28.1~33.2 |

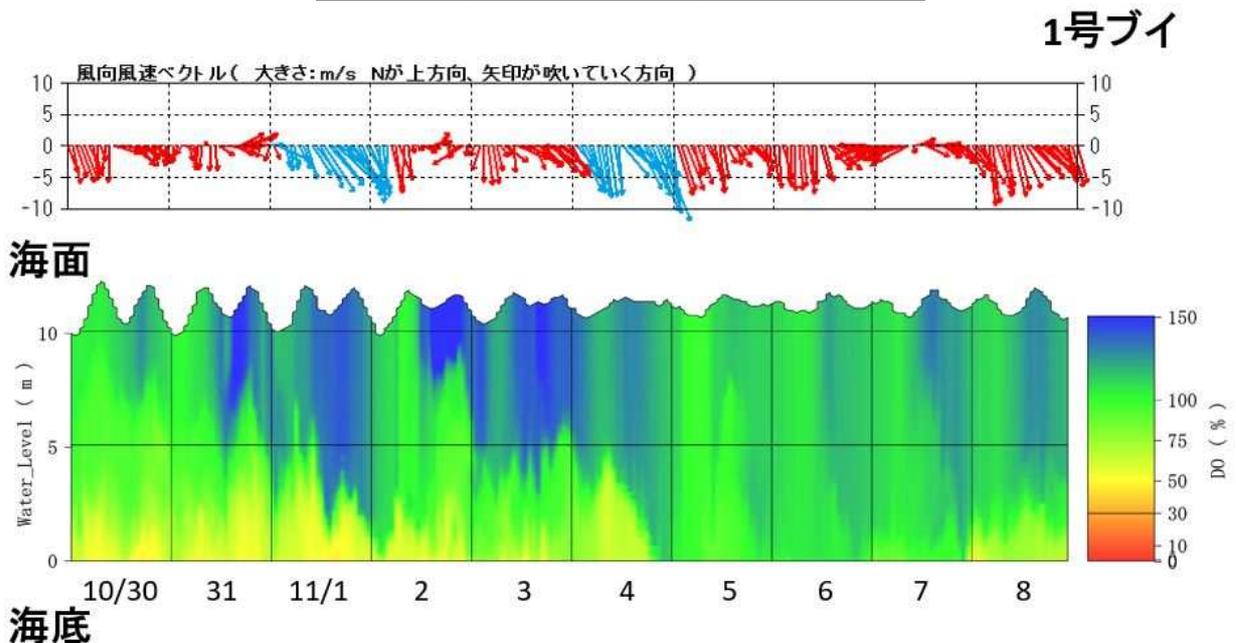


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）  
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

## 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

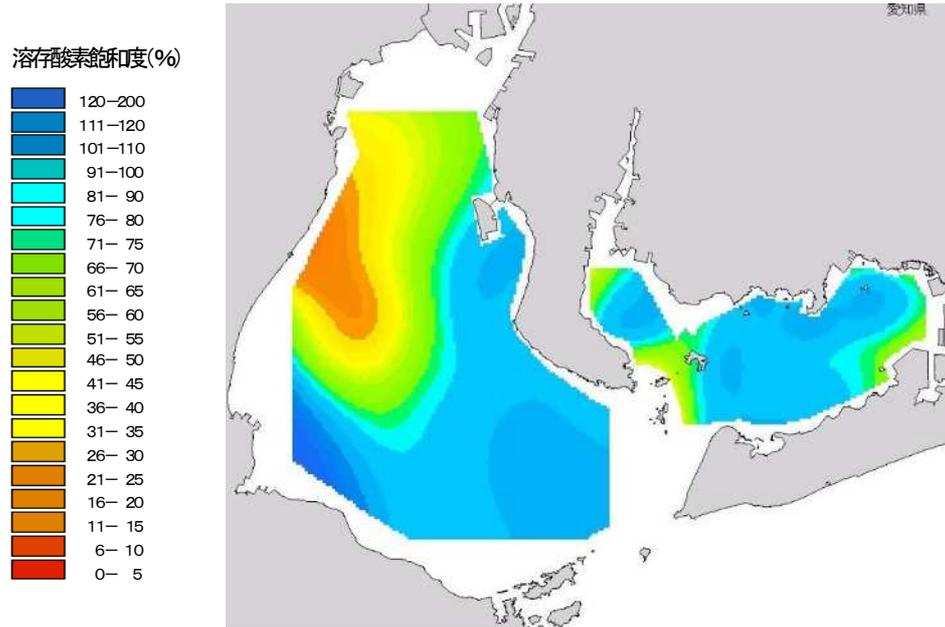


図3 令和元年10月30、31日 (伊勢湾)、10月15、16日 (三河湾)